

## 防災・減災を進める取り組み

自然災害による被害を防ぐため、河川の氾濫や土砂災害を防ぐための施設を整備するとともに、さまざまな関係者と協議し、防災・減災を進めるための取り組みを実施しています。

### 流域治水の推進

流域治水とは、「集水域」と「河川区域」に「氾濫域」も含めて1つの流域としてとらえ、流域全体のあらゆる関係者が協働して取り組む水害対策です。

県では、流域治水の取り組みを計画的に進めるため、関係者協働の場として県内各地で流域治水協議会を設置し、流域治水プロジェクトの策定・公表を進めています。



### 施設整備による防災対策

#### 洪水対策

河川の氾濫を防ぐため、川幅を広げるなどの河川改修事業を進めており、今年度は32河川で事業を実施しています。また、河川整備と組み合わせたダムの整備や堆積した土砂の浚渫、樹木の除去作業も県内各地で計画的に進めています。

五島市の牟田川河川改修工事



整備前



整備後

#### 土砂災害対策

土砂災害による被害を未然に防止・軽減するため、土石流を防ぐ砂防堰堤や崖崩れを防ぐ法面工などの施設を整備する事業を県内各地で実施しています。

長崎市の田中(61)地区 急傾斜地崩壊対策工事



整備前



整備後

# 特集 災害を防ぎ、災害に備える

近年、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化が懸念されており、県では災害に備えて施設整備や防災情報の発信など、ハード・ソフト一体となった取り組みを進めています。避難情報や避難方法などを確認し、災害から身を守る備えを始めましょう。



令和3年8月豪雨により発生した土石流(死者3名)【雲仙市】



令和2年7月豪雨による佐奈河内川周辺の浸水状況【大村市】

全国各地で毎年のように災害が発生しており、長崎県では令和2年7月豪雨や令和3年8月豪雨により多くの被害が発生しました。

また、長崎県は土砂災害警戒区域数が全国で2番目に多く、これまでに大雨特別警報が全国で最多の5回発表されるなど、豪雨災害へのリスクがさらに高まっています。

### 災害が起こりうる危険な場所

土石流や崖崩れなどの土砂災害や河川氾濫などの水害から身を守るためには、あらかじめ身の回りの危険な場所を把握しておき、できるだけ安全な場所に避難することが重要です。

県では、土砂災害が発生しやすい箇所を「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」、河川氾濫時に浸水する恐れがある箇所を「洪水浸水想定区域」として指定しています。これらの区域は、お住まいの市町が作成するハザードマップや県のウェブサイトなどで確認することができますので、いざという時のために事前に身の回りの危険な箇所をご確認ください。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の例  
(長崎県土砂災害ハザードマップより)



**土砂災害警戒区域** 土砂災害発生時に生命または身体に危害が生じる恐れがある区域(黄色の範囲)

**土砂災害特別警戒区域** 警戒区域の中でも建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域(赤線で囲んだ範囲)

洪水浸水想定区域図の例



**浸水想定区域** 河川が氾濫した場合に、浸水の恐れがある区域(色付けしている範囲)。浸水した際に見込まれる水面から地面までの深さで色分けしている

## 災害発生前に避難を

集中豪雨や台風などで災害が発生する恐れがある場合、皆さんを災害から守り、被害拡大を防ぐため、各市町から避難情報が発令されます。

日頃からお住まいの地域のハザードマップや避難所の位置、避難ルートを確認しておき、避難情報が発令されたら、速やかに適切な避難行動をとりましょう。

### 状況に応じた避難を

各市町が発令する避難情報は防災行政無線などを通じて周知されます。避難指示が発令される警戒レベル4までには危険な場所から避難しましょう。また、避難に時間を要する方は、早めに避難行動をとりましょう。

#### 避難のポイント① 避難場所の例

市町が開設する避難所に行くことだけが避難ではありません。避難所に行くことが難しい場合は、安全地域にある親戚や知人宅、ホテルなどの宿泊施設に避難することも考えてみましょう。※宿泊施設は予約や宿泊料が必要です

#### 避難のポイント② 屋内での安全確保

豪雨時の屋外避難は危険です。土砂災害の恐れがある場合は斜面地から離れた部屋に避難するなど、屋内で危険性の低い場所に避難し、安全を確保しましょう。

| 警戒レベル                    | 避難情報等                               |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 5                        | 災害発生又は切迫<br><b>緊急安全確保</b>           |
| ~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~ |                                     |
| 4                        | 災害のおそれ高い<br><b>避難指示</b>             |
| 3                        | 災害のおそれあり<br><b>高齢者等避難</b>           |
| 2                        | 気象状況悪化<br><b>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</b>  |
| 1                        | 今後気象状況悪化のおそれ<br><b>早期注意情報 (気象庁)</b> |

### 自宅や職場でできる備え

家族構成や職場の状況に応じた非常用持ち出し品や備蓄品をあらかじめ準備しておき、いざという時に備えましょう。

#### 非常用持ち出し品チェックリスト

- 水、食料(レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど)
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 電池・充電器
- 衣類
- ミルク、離乳食、おむつ(子ども用、大人用)、生理用品など
- 救急用品(ばんそうこう、常備薬など)
- 防災用ヘルメット
- 防災用ヘルメット
- レインウェア
- 持病の薬
- タオル
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- マスク、消毒液



#### 備蓄品の例

- 水や食料(最低3日分、できれば1週間分) ※使用したら補充する習慣を
- 生活用品(ゴミ袋、ポリタンク、電池・充電器、ラップ、携帯用トイレなど)

問合せ 県の防災企画課 ☎095-895-2143

地球温暖化などの影響により、近年、自然災害は頻発化・激甚化しており、全国各地で甚大な被害が発生しています。県内でもいつ大規模災害が起こってもおかしくない状況であり、県では、県民の皆さんの生命・財産を守るため、災害に強い県土づくりに向けてハード・ソフト一体となった防災・減災対策に取り組んでいます。災害時の迅速・安全な避難行動に結び付くよう、分かりやすい災害関連情報の提供に努めてまいりますので、積極的な情報収集、早めの避難を心掛けていただきますようお願いいたします。

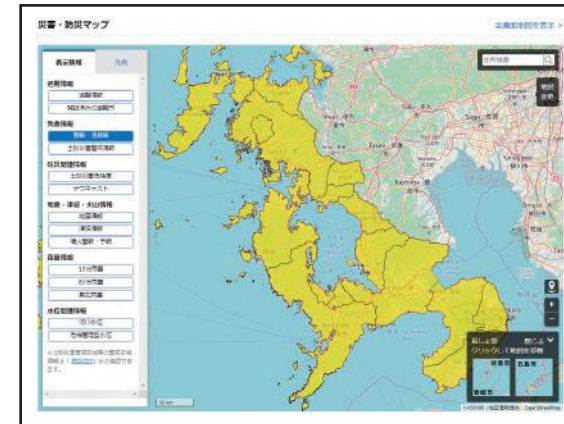


## 避難のための支援

県のウェブサイトでは防災情報を随時発信しています。大雨や台風が接近した際など、お住まいの地域の防災情報をご確認ください。

### 長崎県防災ポータル

地図からお住まいの地域の情報を確認しやすいようにポータルサイトをリニューアルしました。気象情報やお住まいの地域に発令されている避難指示のほか、避難所の開設状況などをリアルタイムで確認することができます。



問合せ 県の防災企画課 ☎095-895-2143 長崎県防災ポータル 検索

### 長崎県河川砂防情報システム(NAKSS)

長崎県河川砂防情報システム(通称NAKSS)では、豪雨時の避難判断に役立てていただくため、河川水位や雨量情報のほか、土砂災害危険度情報、河川監視カメラの画像などを配信しています。



スマホ版

#### 河川監視カメラ

現在、県が管理する河川のうち29カ所に設置しています。監視カメラの画像により、常に最新の川の状況が確認できます。



平常時

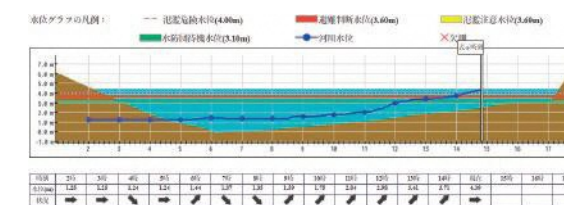


洪水時(令和4年7月)

#### 河川水位・土砂災害危険度情報

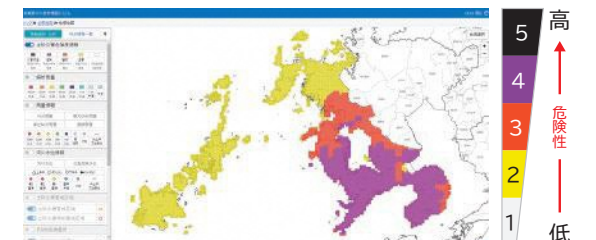
##### 河川水位情報

住民の避難行動の目安となる基準水位と観測水位を確認することができます。



##### 土砂災害危険度情報

雨による土砂災害のリスクの高まりを視覚的に確認することができます。



問合せ 県の河川課 ☎095-823-3280 県の砂防課 ☎095-894-3076